

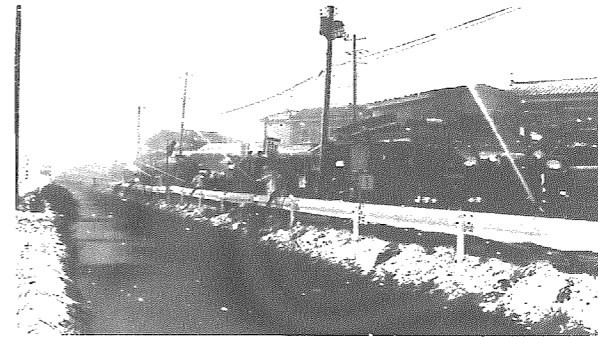
横越町消防団として最後の出初式
雪の降る中で火の用心を呼びかける

1月9日、亀田町消防署横越町分署で、横越町消防団として最後となる消防団出初式が行われ、各分団の団員、消防署員などが参加しました。

浅見町長は訓示で「安全・安心な暮らしのため、常にご努力されている皆さんに敬意を表します。今後も消防精神に徹し、防災活動に励んでください」と述べ、田村団長から「住民の皆さんの生命と生活を守るため、気を緩めず常日頃の訓練を重ねてください」と訓示。来賓からも激励のあいさつがありました。

続いて団員たちは、消防ポンプ車や救急車に乗り込み、町長や町議会議員、南警察署長、各地区の区長たちの観閲に臨み、雪が降りしきる中を防火パレードに出発。約1時間半かけて町内全域で火の用心を広く呼びかけました。

中学校近くの水路で行われた放水訓練では、サイレンが鳴り響く中を消防署員・団員たちが一斉に勢いよく放水。きびきびとした動きでいざという時に備えました。



火災のない安全なまちを祈願
消防署員が町内22km 疾走!

1月4日・5日の2日間、亀田町消防署横越町分署の署員により、「無火災祈願マラソン」が行われました。

このマラソンは、地域の皆さんと消防署が一体となって、火災が発生することなく、安全で安心して生活できる町となることを願って毎年行われています。出発にあたり、亀田町消防本部と横越町分署の署員を前に、浅見町長から「昨年は台風、水害、地震など災害の多い年でした。町民の安心な暮らしのために、健康に留意しながらがんばってください」と訓示がありました。その後、分署の署員19名は「無火災祈願」と書かれたタスキを肩からかけ、消防ポンプ車や救急車など4台とともに、分署を出発。冷たい雨が降る中、町民の皆さんに火の用心を呼びかけながら、町内19か所の神社で無火災・無災害を祈願し、2日間で町内約22kmを走りました。

昨年1年間の町内の火災発生件数は、前年よりも4件少ない2件でした。



みんなで笑って良い年を
マチュアハウス横越で楽しい年忘れ会

昨年12月19日、マチュアハウス横越（阿賀野1丁目）で、毎年恒例の年忘れ会が催されました。

この催しは、入所しているお年寄りの皆さんに明るく楽しい気持ちで1年を締めくくってもらい、新しい年を迎えてもらおうと企画。昔の良き時代・良き思い出を振り返ってもらうことをテーマに、職員全員で昭和初期をイメージした雰囲気づくりに取り組み、モンペやかっぱ着を着て開催されました。

初めに職員による芝居「鶴の恩返し」が上演され、衣装をまとい、化粧をして目の前で熱演する職員たちに、入所者や観覧に来ていた家族の方々から、歓声と拍手が沸き起こっていました。その後、入所者が赤組・白組に分かれ、もの送りゲームや福引大会が行われ、皆さん笑顔いっぱい奮闘。最後に懐かしいおやつが振る舞われ、楽しい年忘れ会が締めくくられました。



伝統文化を感じさせる年末年始の催し

子どもたちが
門松作りに挑戦

12月26日、藤駒野菜集出荷場で、藤駒うぐいす子どもセンターの主催により門松作りが行われました。

今回の催しは、地元特産の竹を有効に使ってお正月飾りを作ろうと企画されました。当日は一面が白くなるほどの大雪。集まった地域の子どもや保護者たちは、4人の地元の門松作り名人から作り方のコツなどを教わりながら、竹を縄でまとめ、松や梅、南天などを挿しこみ、寒さを忘れて思い思いの門松を作



藤駒うぐいす地区の門松作り

りあげました。

子どもたちから「初めて作ったので、松の配置が分からなかった」「難しかったけど、楽しかった」という感想が聞かれました。

また、門松作りの後には、稲刈り体験の時に収穫したもち米を使ってもちつきも行われ、門松を眺めながらつくったのもちをおぼり、少し早い楽しいお正月の気分を味わいました。

小正月の伝統行事

さいの神

東町地区では1月9日、東町会館でもちつき大会が開催され



東町地区のもちつき大会

が行われていたそうですが、2



上町地区のさいの神



小杉地区のさいの神

ました。

連日の大雪で真っ白になった会館前に設置されたテントのもとに、防寒着をまとった子どもたちが元気に集合。白い湯気が立ち昇るもち米を、杵で力いっぱいについた後、あんこやきなこをつけて食べたほか、あつあつの豚汁で体を芯から温めました。

午後には近くの田んぼで「さいの神」が行われ、子どもからお年寄りまで多くの地域の人たちが参加。暗くなりかけた夕方4時に点火し、家内安全、五穀豊穡、交通安全など今年1年の幸せを祈りました。

また、上町のさつき公園とன்றいでもさいの神が行われました。

上町地区では、昔はさいの神が行われていたそうですが、2

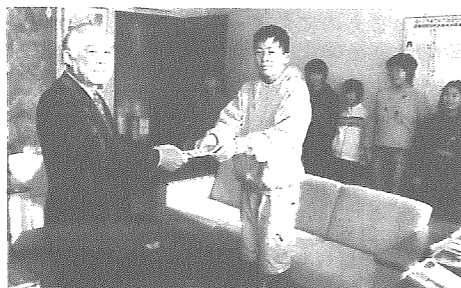
年前に復活するまでの数十年間行われていなかったとのこと

で、今回で3回目となりました。竹、萱、ワラ、豆殻などを使って当日の午前にはさいの神を立て、午後2時に点火。お正月飾りや御札、スルメなどを焼いたり、甘酒や玉こんにゃくなどが振る舞われたりしました。

このほか、町内各地でさいの神が行われ、小正月の伝統行事を楽しみました。

ご厚志に感謝

横越中地区青少年育成会（会長 信田新作さん）の6年生と保護者が役場を訪れ、福祉に役立ててほしいとスルメ募金5万円を寄付しました。



スルメ募金を寄付

大変ありがとうございました。同育成会では、助け合いの精神を培ってもらおうと、子どもや保護者たちが毎年大晦日の夜に横越神社でスルメ販売を行っています。